



- P2 12月議会概要、賛否一覧
- P3~12 一般質問で町政を問う
- P13 常任委員会報告
- P14 出前講座
- P15 町村議会議長全国大会、最近の議会活動
- P16 要望書、編集後記

令和5年 **12** 月議会  
第**75**号

# 議会だより

■ 標題は白石小学校5年 石隈 愛さんの作品です



■ 表紙は福富小学校3年 やまくちじゅんき 山口淳生さんの作品です。テーマは「校庭のセンダンの木」

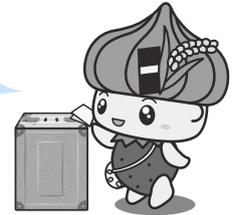
# 12月定例議会概要

12月定例議会は、12月8日から15日までの8日間で行いました。

町長から、条例改正、補正予算、財産の取得、教育委員会委員に係る人事案件など追加議案を含めて14件の議案が提出され、各議案は本会議での審議を経て可決・同意されました。

一般質問は10人が行い、地域防災、まちづくり、行財政運営、農業振興、小中学校統合再編、学校給食費などについて執行部の考えを質しました。

令和5年12月議会定例会には、36人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！



## 賛否一覧

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	議案	結果	吉岡	岸川	友田	重富	中村	定松	前田	溝口	大串	吉岡	草場	井崎	内野	西山	溝上
			正博	信義	香将雄	邦夫	秀子	弘介	弘次郎	誠	武次	英允	祥則	好信	さよ子	清則	良夫
94	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び町長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
98	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
99	道の駅しろいしの指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	財産の取得(住ノ江住宅用地)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
101	教育委員会委員の任命(松尾博之氏)	同意	無記名投票による採決(賛成全員)														
102	令和5年度一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
103	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
104	令和5年度下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
105	財産の取得(白石中学校生徒用机、椅子)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106	財産の取得(新学校給食センター給食用食缶)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107	令和5年度一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



みぞぐち まこと  
溝口 誠 議員

**問** 学校給食費を完全無償化する場合の考えられる財源確保について問う

**答** 今の財政状況は学校再編を優先して実施については検討する

**議員** 近年の物価高騰により、学校給食にも大きな影響があるものと思われる。今年度は、学校給食費を据え置く為に財

源を工夫されているが、その具体的内容について問う。  
**学校教育課長** 子育て世代の支援を図ることを目的に、保護

者負担は据え置き、差額分400万円を本町のふるさと基金を活用して支援したところである。

**議員** 小学校6年生と中学校3年生は給食無償化とされているが、その経緯と保護者の声を問う。

**学校教育課長** 本町

では小学校6年生と中学校3年生の給食完全無償化を実施。これは、平成27年度から町内在住者を対象に「切れ目ない子育て支援」、進学などの出費が高む節目での子育て世代への支援として実施したものである。初年度平成27年度は商品券を配布し、翌年度からは無償化を行っている。保護者からは、進学を前に出費の高む時期の支援で「助

かります」との声を聞いたことがある。

**議員** 学校給食は、食に関する知識を学ぶための大切な学び「食育」と考える。食育の役割をどのように認識しているのか。

**教育長** 食育の目標

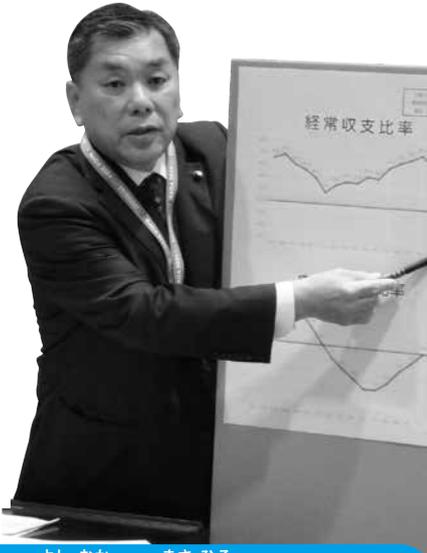
は、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童生徒一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにすることである。学校教育において、食育は重要な役割を担っており、今後も引き続き充実を図っていききたい。

**議員** 来年4月から中学校が統合され、また9月から新学校給食センターが稼働することにより学校給食の一本化が実現する。近隣の大町町、江北町、太良町は無償化を行っている。子育て環境に違いがあることは望ましくない。一般財源の見直しやふるさと基金を活用してこれを機会に完全無償化を実現するべきではないか。

**町長** 町のトップとして、行財政運営の責任者として、白石町が健全な財政状況で将来も継続していくよう努めていく必要がある。まずは、学校再編を最優先したい。学校給食の完全無償化については、改めてメリット、デメリットを整理し、大型事業などに要する経費を把握するとともに、その影響を考え、実施については検討させていただきたい。



●JAさがら学校給食用米寄附



よし おか 吉岡 まさ ひろ 正博 議員

**問** どうする、文化財・町史は

**答** 新町史編纂検討委員会を設置する

**議員** 白石町は収集

民具等を干拓館や旧役場車庫に置き、再度の見学や整理・保存を意識していると思えない。現状認識は。

**町長** 保管状況は十分と思っていない。文化財専門職を採用

し検討させている。

**議員** 文化財専門員が3人は評価する。重要文化財指定は

盗難や維持のフォローが必要では。

**生涯学習課長** 指定は保護と公開の両立から所有者の負担となる。自治体が預か

る「寄託」があるが白石町は施設が無く困難、施設を紹介する。

**議員** 白石に在って

この文化財がある。文化財の良好な維持は専用の保管庫や施設が必要で、歴史的価値を町民が共有するには博物館や資料館が必要。過去に「歴史資料館で保存・公開・活用を考える」と答弁されたが。

**生涯学習課長** 必要性は十分理解しているが進んでいない。

**議員** 合併して19年、町史が無い。過去に町長は「合併20年記念でできた」と答

弁されたが進捗は。

**町長** 町史編纂のタイミングは到来した。仮称・新町史編纂検討委員会を設置する。

**問** 大丈夫か、町財政は

**答** 安心できる状況でない

**議員** 財政の柔軟性

を見る経常収支比率は、令和3年度に84・3%まで下がり4年度は89・9%に。借金の指標の実質公債費比率は、10%を要

注意基準とし令和2・3年度に10・0%が続き4年度は10・1%になった理由は。

**企画財政課長** 経常

収支比率は、分子の公債費・一部事務組合負担金の増、分母の普通交付税・臨時財政対策債の減。実質公債費比率は、分子の公債費の増、分母の臨時財政対策債の減が大きい。

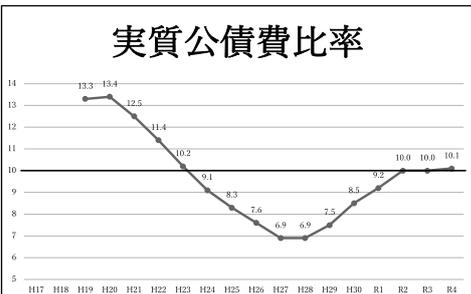
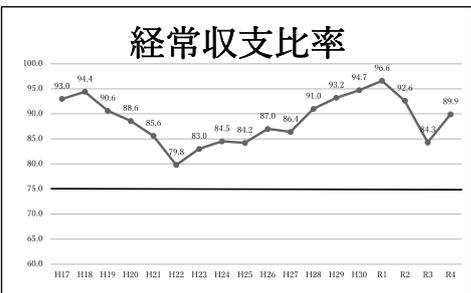
**議員** 今後、学校再編・漁港整備・流域

治水対策等が続き、不足する財源を基金や地方債に頼るとのことだが、国からの地方交付税は算定基礎が相対的に減っていく。今後「収入減、返済増」の中で多様な住民ニーズに対応

できるか、危機感を持つ必要はないか。

**企画財政課長** 基金の枯渇も有り得る。事業の取捨選択、優先順位を見直す等の財政運営が必要。

**副町長** 決して安心できる状況でない。危機感を意識し進めていく必要がある。



●吉岡議員持ち込み資料



ともだ かずお  
友田 香将雄 議員

**問** 児童虐待防止の体制強化を

**答** 経験者の活用や研修・資格の取得など取り組む

**議員** 子ども家庭センターの設置の方針は。

**保健福祉課長** 市町村における児童福

る予定。設置要件が厳しい為、今後の検討課題である。

**議員** 虐待防止対策には専門性の高い職員の配置や育成が必要。対応策は。また、児童相談所との連携や人材交流の考え方は。

**保健福祉課長** これまで相談支援や保育業務に代わってきた職員や退職者を含めた経験者の活用、今後新設予定の「子ども家庭ソーシャルワーカー」の取得など取り組んでいく。児童相談所とは意見交換など密な連携や情報共有に取り組む。人事交流について必要性は十分に考えられる。しかし、各種資格の取得や職員の

長期派遣の可否など十分な検討が必要。

**議員** 子育ての悩みについて土日の相談体制の確保が必要ではないか。

**保健福祉課長** 県が設置している相談窓口はあるが町内には無い。設置に関しての人材や予算の確保について国に要望の機会があれば行いたい。

**問** 体育館へのエアコン設置が必要ではないか

**答** 改修費が多額になる。新設白石小学校については要検討

**議員** 体育館へのエアコン設置について新中学校への設置は検討したのか。

**新しい学校へへん専門監** 検討は行ったが、既存の体育館では改修費用が多額になる。

工事期間が長くなる事から行わなかった。改修する場合は数千万〜一億円程度かかるのではとの試算だった。

**議員** 新設の白石地域小学校の方の体育館にはエアコン設置を行うのか。

**新しい学校へへん専門監** こちらについては新しく建てるという事になる。空調設備について設置をするのか、どのような形で対応するのか検討を行っていく。



●町の子育て相談窓口「子育て世代包括支援センター」



なかむら ひでこ  
**中村 秀子** 議員

**問** あかり保育園引き継ぐ事業者がない場合は

**答** 新たな方策を検討する

**議員** 令和4年の出生数が95名という超少子化が進行している中、保育園の状況について尋ねた。特に障害児や医療的ケア児の保育園での受け入れや、行政としての支援は。

また、あかり保育園の民営化が延期になったが、延期の経緯と今後の方針及びスケジュールは。  
**保健福祉課長** 現在9園で721名の園児を預かり、常勤職員122名、非常勤

**問** 部活動の地域移行は大丈夫？

**答** 新設中学校の開校にあたり重要な施策

職員87名で保育にあたっている。障害を持つ子供はこの園でも対応し、現在6名の子どもを4園で受け入れている。医療的ケア児は町内で5名いるが受け入れは来ていない。

**長寿社会課長** 医療的ケア児は現在、在宅及び専門施設でケアされている。町内での受け入れには環境の整備が必要である。

**保健福祉課長** 民営化が延期になったのは保育士の人材確保が出来ないという事である。現在新たな事業者を公募し民営化を図る。

**副町長** 民営化できない場合は再度関係者から意見を聞き、新たな方策を検討する。

とを確認したが、地域移行によって経済的な負担が発生する。指導者への謝金、用具、会場費等である。個人的な負担を軽減する対策は。

**議員** 報道でも新白石中では令和8年から休日の部活動は地域に移行すると発表された。平日と休日の指導の連続性や、地域受け皿、教職員の所在、町外への子どもの流出、経済的な負担は。

**新しい学校づくり専門監** 令和6、7年度は従来通りの学校部活動として活動するが、次第に地域との連携を図りながら、8年度からは休日地域主導での活動となる。もし、地域移行できない部活は平日のみの活動となる。地域の受け皿として

各種目協会を整備しながら、全体の管理運営を行う組織（スポーツ協会等を含む）を作る必要がある。  
教職員の中の一部は部活動に携わることはなくなり、負担を軽減する事となる。休日の指導を行う場合は兼職兼業に則り指導を行う。事故等があった場合には、指導者に責任が行かないように事業主体を「教育委員会」とする。  
**議員** 部活動は教育活動であるこ





いざき よしのぶ  
**井崎 好信** 議員

**問** 本町農業の将来像はどのように

**答** 区画整理するための圃場整備が必要である

**議員** 地域計画を策定するために農業経営意向調査が実施されたが結果は。

**農業委員会会長** 農業を現状維持52%、規模拡大10%、規模縮小・離農では合わせて40%と多くなっている。

**議員** 結果から担い手不足となり耕作放棄地が増加することが懸念されるが。

**農業委員会会長** 担い手不足をくい止め、課題解決の一助となるような計画にしたい。

**議員** 本町農業の将来像をどのように捉えているのか。

**農業振興課長** 農地の集積、集約化を進め、中小規模農家や兼業農家にも参画していただきたい。

**町長** 私見ではあるが、地元負担が伴わない区画整理するための圃場整備が必要ではないかとも思っている。

**議員** カモによる麦作・海苔への被害対策は。

**農業振興課長** 東郷

移地区をモデル地区として吹き流しやレーザー光線による追い払いなどの実証実験を計画している。

**農村整備課長** 県で

実施されたドローンやレーザーを活用した追い払いの検証結果を参考に町内漁協支所や県と連携して取り組んでいく。



●カモ対策でドローンを活用

**問** 小学校仕様にするための改修工事が必要では

**答** 学校施設全体の改修を進め令和8年2月の完了を目指す

**議員** 有明地域新設小学校は令和8年の統合に向けて新しい学校づくり準備委員会が設置されたが協議の内容は。

**新しい学校づくり専門監**

3部会があり校名や服装、通学支援、校訓、ランドデザイン等について協議し、今後は学校教育目標、教育構想等を検討していく。

**議員** 令和6年4月、中学校統合後は、有明中学校を小学校仕様にするための改修工事が必要だと思いが。

**新しい学校づくり専門監**

現在、基本・実施設計の委託業務を発注している。学校施設全体において改修を進めていき、令和8年2月までに工事完了を目指し、学校備品の整備を行い、4月の開校を迎えたい。





うちの  
**内野 さよ子** 議員

**問** 「原子力災害時の覚書き」を交わしてある、避難受け入れ体制は

**答** 避難所運営マニュアルによる職員体制と町民への周知に努めたい

**議員** 毎年、防災会議が実施されている

が、令和4年度は気象台からの説明がなされていた。最近の変更されている大きな項目とポイントは何か。

**総務課長** 1点目は

避難情報の変更、避難勧告は廃止、2点目は顕著な大雨に関する気象情報である。実況で発表が30分程度前倒しされている。

**議員** 防災会議の女性の委員が少ない。

内閣府からは女性の視点にたつた防災・復興の取り組みで会議に関する通知が届いていると思うが。

**総務課長** 第5次男女共同参画基本計画

では令和7年度までに15%、さらに30%をめざすとされている。まずは白石町防災会議条例の改正を行い促進していきたい。

**議員** 白石町は原子

力防災時の広域訓練に関する覚え書きを交わし、実施されている。今年の避難訓練に参加した所感は。

**総務課長** 嬉野市で

の訓練で避難元からのルートの確認、体制の充実、災害に対

する知識、関係機関との連携の必要性を感じている。

**議員** 避難収容受け入れ体制は。

**総務課長** 町内27カ

所の避難所へ唐津市から7851名の避難者の受け入れである。令和4年、策定した白石町避難所運営マニュアルにそつて職員体制を行う。

**議員** 各戸配布の「原

子力災害の手引き」があるが町民への周知は。

**総務課長** 駐在員へ

の説明をしており、機会を活用し周知に努めたい。

**問** 須古城の国史跡指定と活用について

**答** 歴史的価値を次世代へ引き継ぎ、観光資源として有効活用したい

**議員** 史跡指定に向

けた有識者会議の人数と会議状況は。

**生涯学習課長** 令和

4年発足、3名の有識者で構成し2回の会議を行った。

**議員** 4年度は地形

測量図また竹の伐採等、5年度は現地調査等がされているが進捗状況について伺う。

**生涯学習課長** 測量

面積11畝を行い、重要なデータを得た。城跡内に4カ所のトレンチ(溝)をほつて調査。石段遺構や瓦片の検出、城内に

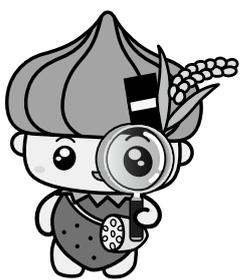
は瓦葺の建物が存在していたと考える。

**議員** 史跡指定と保

存活用については。

**生涯学習課長** 保存

管理、活用、整備、体制づくりを行い、歴史的価値を次世代へ引き継ぎ、観光資源としての有効活用し、町民の誇りと愛郷心を醸成していきたい。





さだ まつ こうすけ  
定松 弘介 議員

**問** 本町の魅力発信の取組みは

**答** 「白石町の良さ」の情報を提供している

**議員** 少子化における人口減の対策として、移住・定住に繋がる我が町の情報発信と施策は。

**総合戦略課長** 町ホームページ・フェイスブックなどで、我が町の良さを発信し

ている。また、国庫対象事業に合わせ、各種支援策を講じている。

**総務課長** 3月には福岡の放送局で特産品・名所案内の放送予定。さらに白石町の魅力を訴える「ブ

ランディング戦略」を強化していきたい。

**議員** 定住促進で分譲地、開発等の検討は。

**総合戦略課長** 福富中学校跡地について

**問** 交通安全対策と防犯対策の現状は

**答** 交通安全協会と連携し、安心安全な町づくりを実現したい

**議員** 交通安全協会の取組みは。

**総務課長** 交通安全県民運動中の立哨活動、町実施の交通安全パレード等交通安全啓発に尽力いただいている。

**議員** 道路標示（中央線・止まれ標示等）が薄くなったり、危険箇所に表示がない箇所等もあるが。

は、各種調査を完了し、精査・調整している。今後小学校跡地についても「公的利用」「企業誘致」「宅地分譲」等可能性を模索していく。

**建設課長** 通学路点検や警察署、公安委員会、駐在員などの

連絡に伴い順次対応している。危険度の高い所を優先に計画的な整備を実施している。

**議員** 町内での防犯カメラの設置状況は。  
**総務課長** 肥前白石・竜王駅、総合運動場、各小中学校、保育園

等の公共施設に計86台を設置。民間事業者の設置も多く町内

**問** 「すっぽん放流」の意義と目的について

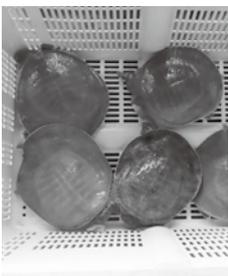
**答** ジャンボタニシ駆除の新たな対策も考えていきたい

**議員** これまでの「すっぽん放流」の実績とその後の管理は。

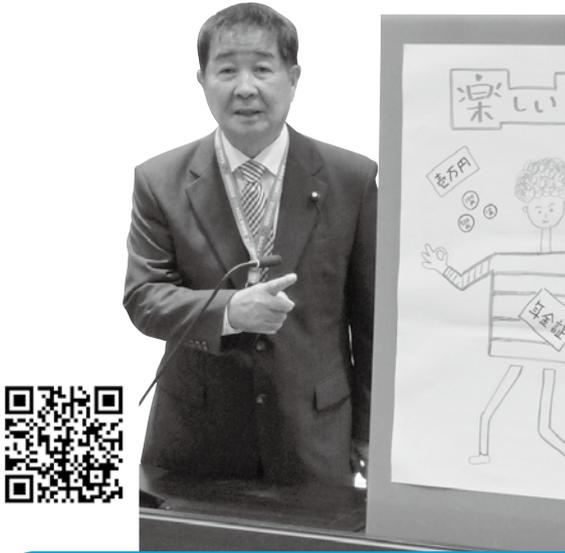
**農業振興課長** スクミリンゴガイ（通称ジャンボタニシ）による水稻や蓮根の食害対策として合併以前から行われてきた。合併後平成17、平成18、平成24の各年度、令和3年度の4回、

の総数は把握できていない。

各1,000匹、計4,000匹の「すっぽん放流」を行っている。被害調査で要望のあった生産組合等を通じ、重点的に稚ガメ放流も行ってきた。財源はふるさと寄付金を活用し、管理は、捕獲禁止の看板等で禁止を促すか、捕獲者がいる現地に職員が直接出向いて対応している。今年度は別の対策も講じ被害に対処したい。



●すっぽん放流



岸川 信義 議員  
きしかわ のぶよし



**問** 使い忘れないように!!  
商品券について

**答** 広く住民に周知して、使い忘れないように努める

**議員** 給付金額及び実施期間は、

**総合戦略課長** 今年  
は全町民を対象に、  
一人当たり4千円分  
の商品券を発行した。  
商品券の取扱期間は

8月下旬から12月31  
日まで。

**議員** 現在までの使  
用額、換金率は。  
**総合戦略課長** 10月  
末では、総額8千6  
百2万円の内、換金

は4千2百57万4千  
5百円で49・7%で  
ある。

**議員** 大型店と小型  
店の換金比率は。

**総合戦略課長** 10月  
末で、大型店70・7%、  
小型店29・3%である。

**議員** 商工会におい  
ては、小型店を対象  
とした商品券獲得事  
業を行っているので、  
今年は小型店の伸び  
を期待している。し  
かし、昨年と同様、  
大型店約7割、小型  
店約3割の比率の場  
合は今回の商品券発  
行においては何らか  
の対策が必要でない  
のか。

**総合戦略課長** その  
時々に変化する可能  
性のある事業目的や  
経済状況も総合的に  
勘案し進めたい。

**議員** これからの広  
報については。  
**総合戦略課長** 広報  
誌、行政放送、ホー

**問** 人生100年時代へ 農業者年金に  
ついて

**答** 関係機関と協力し加入を推進したい

**議員** 今年の9月に、  
農業委員会は農業者  
年金基金理事長から  
表彰されたが、内容  
は。

**農業委員会局長** 全  
国市町を対象とした

表彰で関係機関の協  
力の下6部門全て入  
賞し、うち4部門で  
全国1位となりました。  
**議員** 農業者年金の  
加入要件は。

**農業委員会局長** ①  
国民年金の加入者②

ムページ、SNS、  
ポスター等で、広く  
住民に12月末の使用  
期限の周知を行う。

**議員** これからの加  
入促進の取り組みは。

**農業委員会局長** 特  
に将来において、女  
性農業者の経済的  
不安を軽減できる  
ので、関係機関と協  
力して加入推進を進  
めたい。

**議員** 老後の備えに  
ついて。  
**長寿社会課長** 老後  
の備えでは①健康の  
保持②経済的安定が  
重要である。将来の  
所得補償の柱として  
可能な限り農業者年  
金への加入をお願い  
したい。

**議員** 農業者年金の  
掛け金について。



農業者年金は  
老後のあなたを  
応援します!



まえ だ 弘 じ ろ う  
前田 弘次郎 議員

**問** 新白石中学校への生徒の通学手段の把握や通学路の説明は

**答** 保護者や地域への理解を得ながら進めていく

**議員** 通学支援は、

**新しい学校へへん専門監**

通学支援については、概ね6・5kmを超え  
る行政区（一部班単  
位となるが）の生徒  
についてスクールバ  
スによる支援を行う  
ことと決定している。

**議員** 統合再編に伴  
い不用品が多く発生  
すると考えるが、ど  
のように検討される  
か。

**新しい学校へへん専門監**

廃棄するのは、非常  
にもつたいない。ま  
た処分費用もかかる  
ので、町内の小学校  
での活用、町や教育



●通学路点検

**学校教育課長** 町内、

町外事業者の納入割  
合は、平成30年度は  
町内業者が約59%、  
町外業者が約41%。

令和4年度は町内業  
社が約51%、町外業  
者が約48%である。  
年々町内業者の納入  
割合が減少している。

**議員** 私が住んでい  
る班では、LINE  
で回覧板を回す話が

出ているが、このよ  
うな状況に白石町は  
ついてきているのか。

**副町長** 本町におい  
ても、パソコンより  
は多くの町民が利用  
させているスマート  
フォンで、役場の行  
政手続きが行えるよ  
うに、役場内の関係  
部署と連携しながら  
準備を進めている。

**問** はり、きゆう、マッサージュ受診券  
枚数制限の見直しは

**答** 見直しは検討までに至っていない

**議員** 枚数制限の見  
直しは。

**住民課長** 白石町の

はり、きゆう、マッ  
サージ券交付事業は  
町民の心身の健康増

進が目的であり、治  
療費の補助が目的で  
はないので、現行の  
制度がよいのではな  
いかと考えている。

療費の補助が目的で  
はないので、現行の  
制度がよいのではな  
いかと考えている。



くさば よしのり  
草場 祥則 議員

**問** 美しい農村環境を維持していくための方策は

**答** 観光農業の取り組みも重要と認識

**議員** 観光農業の推進が求められているのではないかと。将来にわたり町の美しい農村環境を維持していくための方策は。

**商工観光課長** 町の農業の活性化と美しい農村環境を維持していくためにも、観光農業の取り組みは重要と認識している。関係団体や農家の

方々と協力していきたい。

**議員** 野菜残渣の問題は長年にわたり生産農家の課題となっているが、これまでの検討状況は。

**農業振興課長** 以前、白石町野菜残さ適正処理対策協議会で検討されたが、施設の建設費用や処理にかかる燃料費など課題があり、解決策が見いだせない状況である。

**議員** 農業分野におけるSDGsへなど循環型農業への取り組みは。

**農業振興課長** 野菜残渣なども資源として考え、農地に還元させる仕組みを作ることで循環型農業を推進できると考える。

**問** 新白石中学校における教育理念は

**答** 学校目標として、「拓く」「輝く」「強く」と定めた

**議員** 新白石中学校における教育理念は。

**教育長** 目指す学校像と次の3点  
①地域に愛され信頼され、地域とともにある学校  
②挨拶や感謝の言葉に溢れ、明るく活気に満ちた学校  
③共に学びあい高めあう人間力に溢れる学校

学校目標として、「拓く」「輝く」「強く」と定めた。「ひっきや」で育てよう!「白石のおおどぼう」を押し進めたい。

**議員** 保護者に対しても町の教育環境が充実したものと理解されなければならぬ。学校給食費の負担軽減の考えは。

**町長** 行財政経営の責任者として、健全な財政状況を将来も継続していく努めがある。まずは学校再編を最優先としたい。



●完成間近な新白石中学校

## 総務常任委員会

### 防災の要望活動と企業誘致関連現地調査

11月13日、東京都の佐賀県首都圏事務所を訪れ、佐賀の食の魅力や文化の発信、首都圏における催事やイベントの状況など詳しく説明を受けPRの重要性を改めて実感できた。株式会社JVCケンウッドでは、本町出身の人物や企業などさまざまな実績をもつ方々が大勢おられ、全国や世界を大きく見渡した大企業の考え方について学ぶことができた。

14日には農林水産省を訪れ、治水について要望活動を行ったが、担当者からは「地域の詳しい実情は把握しづらいので、今回のように資料を基にした要望活動は参考になる」との評価をいただき、「施策の実現のために声を上げていく」重要性を改めて認識した。



●農林水産省での要望活動

## 文教厚生常任委員会

### 移住定住支援・小規模自治体DX現地調査

10月19日、鳥取県琴浦町、江府町を訪れ、移住定住支援策、小規模自治体のDXに関する調査を行った。

琴浦町には移住者サポートの民間団体があり、住民も一緒になった移住者支援、また地域おこし協力隊の活躍、空き家対策の取り組み等の説明を受けた。

江府町では「デジタル化社会において誰一人取り残さない町」を目指し、高齢者のスマートフォン取得事業、また町の防災情報等をスマホに掲載し、今後は見守り事業の活用を検討されていた。

人口減少と高齢化社会、急速に進むデジタル化社会に本町も検討すべき課題があることを改めて認識した。



●琴浦町役場にて説明を受ける

## 産業建設常任委員会

### スマート農業現地調査

11月17日、本町有明地域の岩石学さん宅を訪れ、スマート農業への取り組みについて、現地調査を行った。GPSを用いた基地局整備の問題点や農機自動操舵システムについての詳しい説明を受け、たいへん参考になった。

その他、例えば、施肥について、衛星を使うことで、散布が薄いところだけ濃く施肥できるようにになり、作業効率が上がリ、コスト削減にもつながるといふ最新技術導入の検討など、先進的に取り組んでおられる農家に直接触れ、地域的にも頼もしいビジョンをうかがうことができ、白石農業の今後について改めて問題意識を持つ機会となった。



●最先端の農業について岩石さんから説明を聞く

# 議会出前講座

議会出前講座として、10月31日に下区老人クラブ、11月16日に白石高校に出向きました。

下区では町議会の報告、交通弱者対策、移住定住施策、学校統合再編、道の駅しろいし現状報告、ふるさと納税、スマイル商品券などについて意見交換を行いました。

なお、白石高校では主権者教育講演会での講話、議員としてのやりがいなど、生徒からの質問にも答えました。

各地域の皆様も会合の際には、どうぞ議会出前講座を活用ください。



左から溝上良夫、定松弘介、中村秀子、大串武次、岸川信義



10月31日

下区老人クラブ(25人)



前田弘次郎、友田香将雄、内野さよ子、井崎好信

※商業科キャンパスは、オンラインで聴講されました。



11月16日

白石高校  
(全校生徒対象)

## 第67回町村議会議長全国大会

11月29日、東京都内で開催された第67回町村議会議長全国大会に、片渕栄二郎議長が参加した。「議会の機能強化及び多様な人材が参画するための環境整備」などの要望の提案、採択がなされた。なお、採択された要望事項を踏まえ、町村議会の総意を結集、当面する重要問題の解決を図るため決議が行われた。大会終了後、フリーキャスター・事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏による講演「地域から輝く日本へ～未来への選択と責任」を大会参加者は熱心に聴講した。



伊藤聡子氏による講演

### 最近の主な議会活動(10月～12月)

	日	曜	
10月	3	火	同和問題市町講座
	5	木	北明小学校学校訪問 SAGA2024国スポ・全障スポ協賛品受領式
	10	火	議員例会、議員説明会
	14	土	ありあけ幼稚園運動会 県民スポーツ大会
	18	水	文教厚生常任委員会視察研修(～20日)
	23	月	国道207号改良促進期成同盟会要望書提出
	25	水	杵島建設労働組合との災害時建築物の応急 対策活動協力に関する協定調印式 西部広域環境組合10月定例会
	28	土	東京有明会
	29	日	有明東小学校運動会 有明南小学校運動会
	31	火	台湾嘉義県民雄郷から庁舎訪問 議会出前講座 一期目議員研修会

	日	曜	
11月	2	木	福富中学校学校訪問 県議長会正副会長会、県議長会
	6	月	後期高齢者医療広域連合議会11月定例会、 議案勉強会
	7	火	白石地域新設小学校基本構想における先進 事例視察
	10	金	議員例会、議員説明会 福富小学校学校訪問
	12	日	総務常任委員会視察研修(～14日) 地方議会活性化シンポジウム(～14日)

	日	曜	
11月	13	月	後期高齢者医療広域連合議会11月定例会議会 運営委員会、本会議
	16	木	議会出前講座 環境審議会
	17	金	産業建設所管事務調査
	20	月	町議会広報研修会
	23	木	子ども・若者育成支援県民大会
	26	日	しろいしべったんご祭
	28	火	シルバー人材センター 要望書提出 議会運営委員会 差別の現実に学ぶ研修会 町村議会議長全国大会(～30日)

	日	曜	
12月	1	金	白石町商工会、建設工業部会要望書提出
	3	日	白石町教育の明日を考える集会
	8	金	12月定例会開会
	11	月	一般質問(4人)
	12	火	一般質問(4人)
	13	水	一般質問(2人)
	14	木	議案審議、議員説明会
	15	金	議案審議
	16	土	白石町社会福祉大会
	19	火	産業建設常任委員会所管事務調査 白石町高齢者福祉策定委員会
	21	木	婚活サポーター情報交換会
	22	金	白石町有明海沿岸道路建設促進協議会 県町村議会議長会意見交換会



## 要望書を受け取りました

### ●センターに対する補助金の確保に関する要望

提出者 白石町シルバー人材センター代表理事  
吉田 義敏

### ●令和6年度白石町商工業振興対策事業補助金等の要望

提出者 白石町商工会会長 坂口 誠

### ●小規模企業振興に関する条例の制定についての要望

提出者 白石町商工会会長 坂口 誠

### ●地元建設業・製造業に対する優先発注等についての要望

提出者 白石町商工会建設工業部会部会長  
黒岩 直幸

## 編集後記



しろいしみのりちゃん

編集委員会で、この「編集後記」の内容について、議論がありました。

編集後記は「記事のメインピックが触れられていたり、編集時には書くことが出来なかった編集者の正直な感想や裏話などが書かれていることが多い」との意見があり、あらためて編集後記の書き方を考えました。

「いま頃や」の感もありましょうが、編集委員会は議会としての活動を住民の皆さんに知ってもらうため、議会広報の目的や内容を再確認しながら、より良い広報紙を目指して編集に取り組んでいます。

編集後記は「たのしさ、やわらかさ」も必要とありましたが、お堅い話ですみません。(吉岡正)

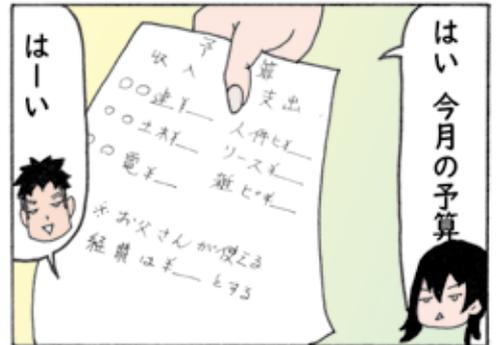


◀議会だより4コマまんがの掲載が10年を迎えました。  
作者の市原佐知さん(嘉瀬川) 毎号ありがとうございます。  
10年の功績をたたえ感謝状を贈呈しました。

# 議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachieemon

第40話「流用」



※流用とは  
金額を相互に融通して使用すること



## 白石町議会だより/第75号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1  
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会  
責任者/白石町議会議長片瀨栄二郎

広報委員 委員長 定松弘介  
副委員長 友田香将雄  
委員 中村秀子 重富邦夫 岸川信義 吉岡正博